

## 第2日 1月22日(土) 2F 大ホール A会場

8:30～ 受付開始

### 9:00～9:40 一般演題 6: ICON

座長：津川 隆彦（名古屋共立病院 名古屋放射線外科センター）

- 06-1 ガンマナイフアイコンにおけるマスク・ヘッドクッション再利用についての有用性  
洛西シミズ病院 ガンマナイフセンター 神内 満
- 06-2 Gamma knife ICON における初期経験  
大阪市立総合医療センター 医療技術部 半田 早紀
- 06-3 アンケートを通じたガンマナイフ治療に関する看護支援の確立  
藤元総合病院 ガンマナイフセンター 精松 文代
- 06-4 ガンマナイフアイコンによるマスクシステムについての患者満足度調査  
洛西シミズ病院 脳神経外科 川邊 拓也
- 06-5 小児に対する全身麻酔下で施行されたマスク固定によるガンマナイフ治療  
大阪市立総合医療センター 医療技術部 山口 英雄

### 9:40～10:00 指定演題: COVID-19

座長：松永 成生（横浜労災病院 脳神経外科）

- 指定-1 COVID-19 感染拡大が転移性脳腫瘍患者のガンマナイフ治療（GKS）に及ぼした影響と変化  
国立循環器病研究センター 脳神経外科 森 久恵
- 指定-2 COVID-19 時代の定位照射 - ガンマナイフの立場から -  
社会医療法人寿会富永病院 脳神経外科 岩井 謙育

### 10:00～11:10 シンポジウム 2: 大きな病変に対する治療法の工夫

座長：森木 章人（もみのき病院 脳神経外科）  
城倉 英史（古川星陵病院 鈴木二郎記念ガンマハウス）

- S2-1 硬膜動静脈瘻のガンマナイフ治療：シャント閉塞の予測可能性と grading system の構築  
- JLGK 1802 研究 -  
東京大学医学部 脳神経外科 長谷川洋敬
- S2-2 超大型脳動静脈奇形に対する多段階ガンマナイフの治療成績  
東京大学医学部 脳神経外科 新谷 祐貴
- S2-3 大型脳動静脈奇形に対するガンマナイフ治療 - 治療戦略ごとの成績比較  
古川星陵病院 鈴木二郎記念ガンマハウス 川岸 潤
- S2-4 大型嚢胞性転移性脳腫瘍に対する Ommaya Reservoir 留置術を併用した分割ガンマナイフ治療  
NTT 東日本関東病院 脳神経外科 野田 龍一
- S2-5 転移性脳腫瘍に対するガンマナイフにおける嚢胞穿刺併用の被曝量低減効果の検証  
関西ろうさい病院 脳神経外科 清水 豪士

- S2-6 脳転移に対するガンマナイフ単回照射の大きさの限界  
～ JLGK0901 と 1601 に登録された病変の局所制御からの検討～  
築地神経科クリニック／東京ガンマユニットセンター 芹澤 徹
- S2-7 転移性脳腫瘍に開頭腫瘍摘出術は必要か？  
－大きな転移性脳腫瘍に対するガンマナイフによる分割照射の効果－  
藤元総合病院 脳神経外科 八代 一孝

### 11:10～12:10 特別講演 2

座長：八代 一孝（藤元総合病院 脳神経外科）

- SL2 通常分割照射と定位照射における線量分割の立ち位置の違い  
京都大学大学院医学研究科 放射線腫瘍学・画像応用治療学 溝脇 尚志

### 12:15～13:15 ランチョンセミナー

共催：ブレインラボ株式会社

座長：周藤 高（独立行政法人労働者健康安全機構 横浜労災病院）

- LS Gamma Knife Icon 時代の転移性脳腫瘍に対する分割定位照射：  
最適な標的辺縁の線量勾配と分割数  
愛知県厚生農業協同組合連合会 海南病院 放射線治療科 大宝 和博

### 13:30～13:50 JLGK（日本ガンマナイフ学会）共同研究

座長：芹澤 徹（築地神経科クリニック／東京ガンマユニットセンター）

- CR JLGK（日本ガンマナイフ学会）共同研究  
－日本から世界へのガンマナイフの治療成績の発信－  
社会医療法人寿会富永病院 脳神経外科 岩井 謙育

### 13:50～15:00 シンポジウム 3：ICON をこんな風に使っています

座長：川岸 潤（古川星陵病院 鈴木二郎記念ガンマハウス）  
四方 聖二（相澤病院 がん集学治療センター放射線治療部門ガンマナイフセンター）

- S3-1 Gamma Knife Icon の使用における全国アンケート調査  
藤元総合病院 ガンマナイフセンター 放射線部 堀之内隆夫
- S3-2 ガンマナイフ Icon による初期治療経験  
もみのき病院 脳神経外科 森木 章人
- S3-3 当院における ICON 導入後の寡分割照射  
小牧市民病院 脳神経外科 長谷川俊典
- S3-4 ガンマナイフアイコンによる初期治療経験－導入後治療の変化についての検討－  
大阪市立総合医療センター 脳神経外科 山中 一浩
- S3-5 転移性脳腫瘍に対する分割ガンマナイフ照射期間中の体積変化  
東京大学医学部 脳神経外科／NTT 東日本関東病院 ガンマナイフセンター 河島真理子

- S3-6 当院での ICON を用いた多発転移性脳腫瘍の治療  
医療法人社団伊豆七海会 熱海所記念病院 中谷幸太郎
- S3-7 ガンマナイフアイコンによる 4 年間のフレームレス定位放射線治療経験  
洛西シミズ病院 脳神経外科 川邊 拓也

15:00~15:40 一般演題 7：聴神経腫瘍

座長：岩井 謙育（社会医療法人寿会富永病院 脳神経外科・ガンマナイフセンター）

- 07-1 75 歳以上の前庭神経鞘腫に対する定位放射線治療の治療成績  
筑波大学附属病院 / 筑波大学つくば臨床医学研究開発機構 渡邊 真哉
- 07-2 聴神経腫瘍に対するガンマナイフ治療後に手術が必要になる 3 つの病態について  
横浜労災病院 脳神経外科 周藤 高
- 07-3 聴神経腫瘍術後残存腫瘍に対する定位放射線治療  
千葉大学医学部 脳神経外科 樋口 佳則
- 07-4 NF2 両側聴神経腫瘍に対する Micro-radiosurgery 治療戦略：  
有効聴力長期温存のための適応・方法・時期の推奨  
東京女子医科大学 脳神経外科 林 基弘
- 07-5 ガンマナイフによる聴神経腫瘍治療後、10 年、20 年超の画像変化  
古川星陵病院 鈴木二郎記念ガンマハウス 城倉 英史

15:40~15:45 閉会式

挨拶：八代 一孝（藤元総合病院 脳神経外科）